

令和元年度第 2 回市政モニターアンケート結果

テーマ「防災意識について」

- (1) 対 象 市政モニター 1 2 7 人
- (2) 回答者数 1 1 6 人
- (3) 実施期間 令和元年 9 月 1 2 日から 9 月 2 6 日まで
- (4) 目 的 相模原市では、地震などの災害発生時に迅速な対応ができるよう相模原市地域防災計画を策定し、防災対策の推進を図っています。今回の調査は、相模原市にお住いの皆様の防災に対する課題やご意見などをお伺いし、今後の本市の防災・減災対策を推進する上での基礎資料として活用するため、アンケートにご協力いただきました。

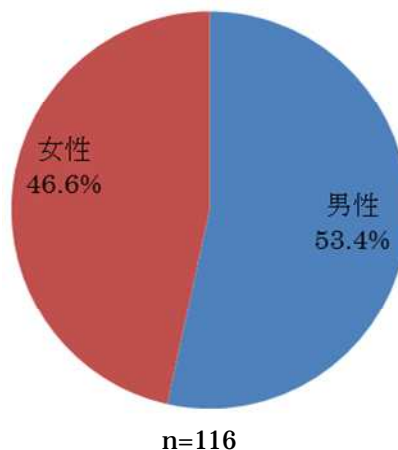
表、グラフ内の数字は回答者数を基数とした百分率で表わし、小数点第 2 位を四捨五入しているため、百分率の合計が 1 0 0 % にならない場合があります。

【基本的項目についてお伺いします。】

問 1 あなたの性別をお伺いします。(回答は 1 つ)

1 男性	2 女性
------	------

選択肢	回答数	回答分布
男性	62	53.4%
女性	54	46.6%
計	116	100%

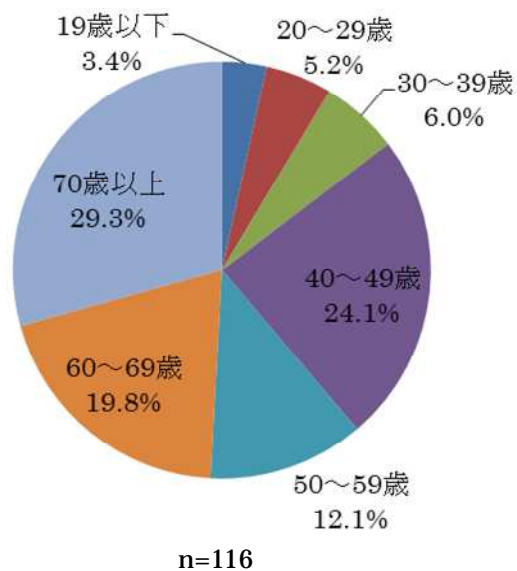


回答された方の性別は以上のとおりです。

問2 あなたの年齢をお伺いします。(回答は1つ)

1	19歳以下	4	40～49歳	7	70歳以上
2	20～29歳	5	50～59歳		
3	30～39歳	6	60～69歳		

選択肢	回答数	回答分布
19歳以下	4	3.4%
20～29歳	6	5.2%
30～39歳	7	6.0%
40～49歳	28	24.1%
50～59歳	14	12.1%
60～69歳	23	19.8%
70歳以上	34	29.3%
計	116	100.0%

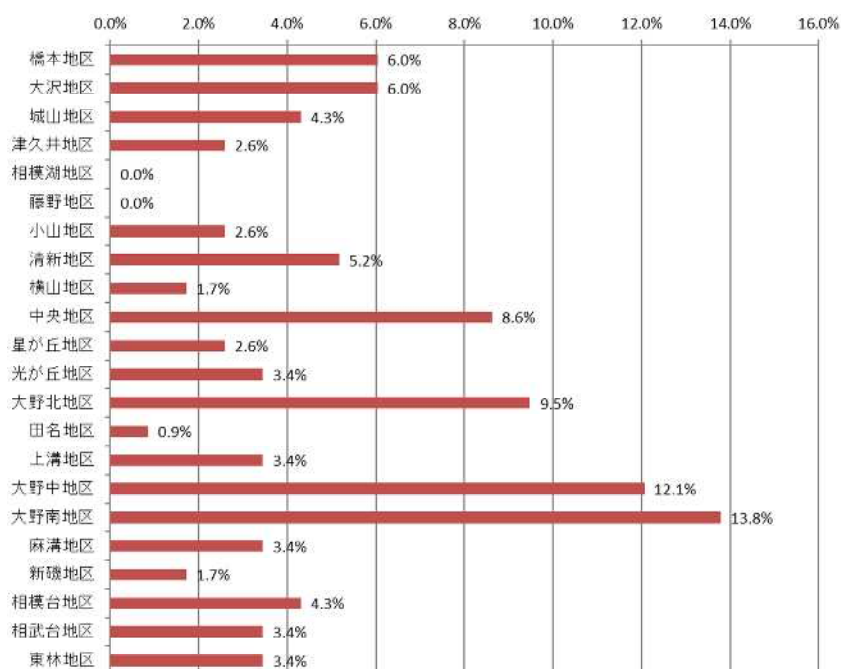


回答された方の年齢層は以上のとおりです。

問3 あなたのお住まいの地区をお伺いします。(回答は1つ)

緑区	中央区	南区
1 橋本地区	7 小山地区	16 大野中地区
2 大沢地区	8 清新地区	17 大野南地区
3 城山地区	9 横山地区	18 麻溝地区
4 津久井地区	10 中央地区	19 新磯地区
5 相模湖地区	11 星が丘地区	20 相模台地区
6 藤野地区	12 光が丘地区	21 相武台地区
	13 大野北地区	22 東林地区
	14 田名地区	
	15 上溝地区	

選択肢	回答数	回答分布
橋本地区	7	6.0%
大沢地区	7	6.0%
城山地区	5	4.3%
津久井地区	3	2.6%
相模湖地区	0	0.0%
藤野地区	0	0.0%
小山地区	3	2.6%
清新地区	6	5.2%
横山地区	2	1.7%
中央地区	10	8.6%
星が丘地区	3	2.6%
光が丘地区	4	3.4%
大野北地区	11	9.5%
田名地区	1	0.9%
上溝地区	4	3.4%
大野中地区	14	12.1%
大野南地区	16	13.8%
麻溝地区	4	3.4%
新磯地区	2	1.7%
相模台地区	5	4.3%
相武台地区	4	3.4%
東林地区	4	3.4%
無回答	1	0.9%
計	116	100%



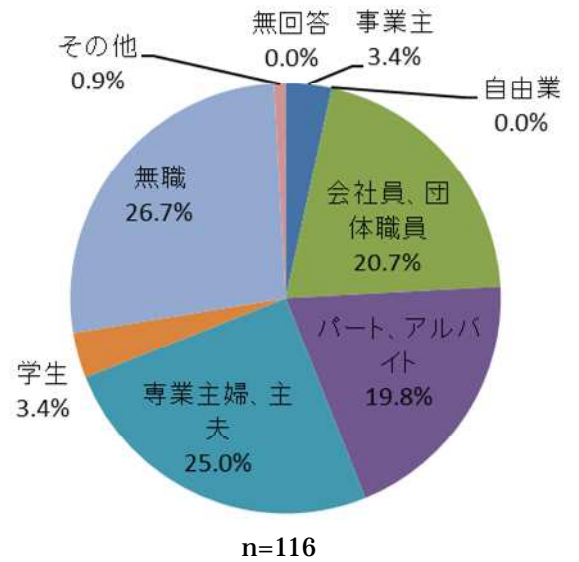
n=116

回答された方のお住まいの地区は以上のとおりです。

問4 あなたの職業をお伺いします。(回答は1つ)

1 事業主	5 専業主婦、主夫
2 自由業	6 学生
3 会社員、団体職員	7 無職
4 パート、アルバイト	8 その他 ()

選択肢	回答数	回答分布
事業主	4	3.4%
自由業	0	0.0%
会社員、団体職員	24	20.7%
パート、アルバイト	23	19.8%
専業主婦、主夫	29	25.0%
学生	4	3.4%
無職	31	26.7%
その他	1	0.9%
無回答	0	0.0%
計	116	100.0%



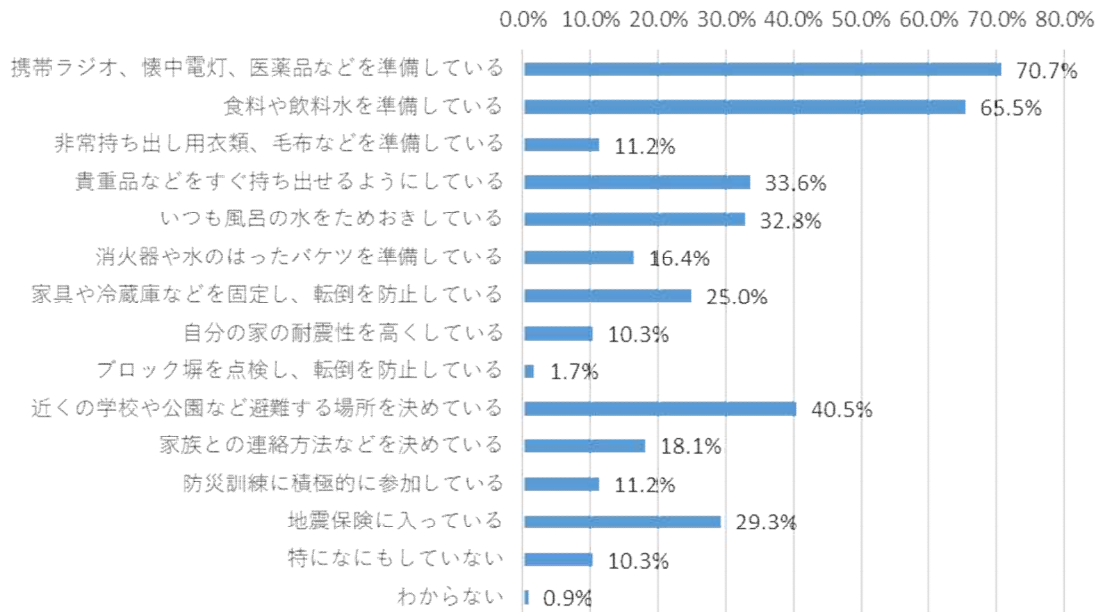
回答された方の職業は以上のとおりです。

問5 あなたの家では、地震等の災害に備えてどのような対策を行っていますか。

(回答はいくつでも)

- 1 携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している
- 2 食料や飲料水を準備している
- 3 非常持ち出し用衣類、毛布などを準備している
- 4 貴重品などをすぐ持ち出せるようにしている
- 5 いつも風呂の水をためおきしている
- 6 消火器や水のはったバケツを準備している
- 7 家具や冷蔵庫などを固定し、転倒を防止している
- 8 自分の家の耐震性を高くしている
- 9 ブロック塀を点検し、転倒を防止している
- 10 近くの学校や公園など避難する場所を決めている
- 11 家族との連絡方法などを決めている
- 12 防災訓練に積極的に参加している
- 13 地震保険に入っている
- 14 特になにもしていない
- 15 わからない

選択肢	回答数	回答分布
携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している	82	70.7%
食料や飲料水を準備している	76	65.5%
非常持ち出し用衣類、毛布などを準備している	13	11.2%
貴重品などをすぐ持ち出せるようにしている	39	33.6%
いつも風呂の水をためおきしている	38	32.8%
消火器や水のはったバケツを準備している	19	16.4%
家具や冷蔵庫などを固定し、転倒を防止している	29	25.0%
自分の家の耐震性を高くしている	12	10.3%
ブロック塀を点検し、転倒を防止している	2	1.7%
近くの学校や公園など避難する場所を決めている	47	40.5%
家族との連絡方法などを決めている	21	18.1%
防災訓練に積極的に参加している	13	11.2%
地震保険に入っている	34	29.3%
特になにもしていない	12	10.3%
わからない	1	0.9%



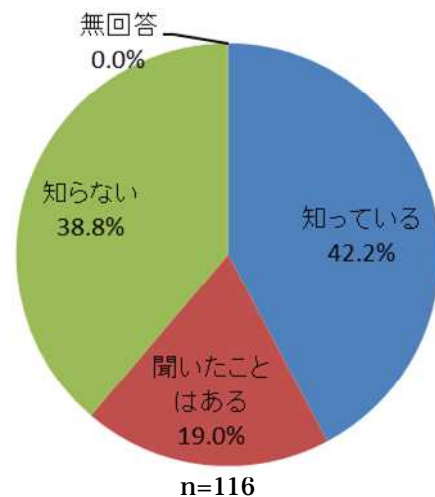
n=116

「携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している」が最も多く70.7%、次いで「食料や飲料水を準備している」が65.5%、「近くの学校や公園など避難する場所を決めている」が40.5%という結果となりました。

問6 - 1 あなたは、平成28年3月に全世帯に配布された防災ガイドブックを知っていますか。
(回答は1つ)

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

選択肢	回答数	回答分布
知っている	49	42.2%
聞いたことはある	22	19.0%
知らない	45	38.8%
無回答	0	0.0%
計	116	100.0%



n=116

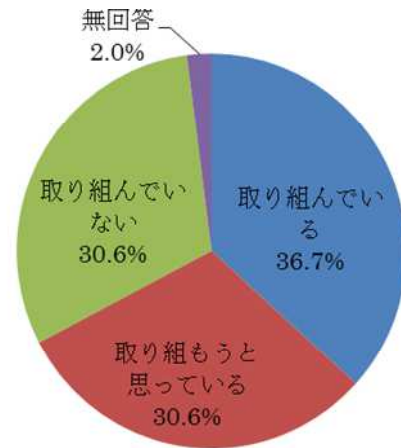
「知っている」が42.2%という結果となりました。

《問6 - 1で、「1 知っている」とお答えの方へ》

問6 - 2 あなたは、平成28年3月に全世帯に配布された防災ガイドブックを読んで何か取り組んでいますか。（回答は1つ）

- 1 取り組んでいる
- 2 取り組もうと思っている
- 3 取り組んでいない

選択肢	回答数	回答分布
取り組んでいる	18	36.7%
取り組もうと思っている	15	30.6%
取り組んでいない	15	30.6%
無回答	1	2.0%
計	49	100.0%



n=49

「取り組んでいる」が、36.7%という結果となりました。

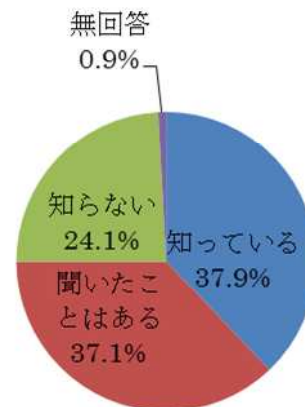
【避難情報の認知度について】

問7 あなたは、「避難準備・高齢者等避難開始¹」を知っていますか。(回答は1つ)

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

1 避難に時間を要する高齢者等の災害時要援護者やその支援者が避難行動を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が高まった状況で市が発令する情報

選択肢	回答数	回答分布
知っている	44	37.9%
聞いたことはある	43	37.1%
知らない	28	24.1%
無回答	1	0.9%
計	116	100.0%



n=116

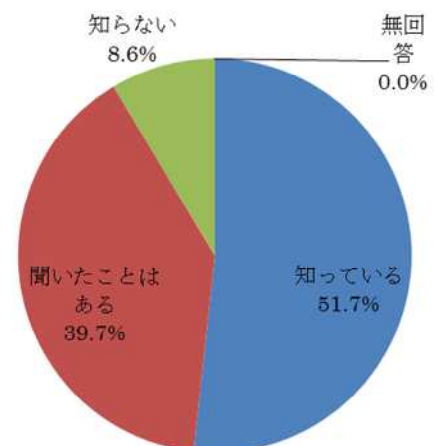
「知っている」が、37.9%という結果となりました。

問8 あなたは「避難勧告²」を知っていますか。(回答は1つ)

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

2 通常の避難ができる方が避難を始めなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況で市が発令する情報

選択肢	回答数	回答分布
知っている	60	51.7%
聞いたことはある	46	39.7%
知らない	10	8.6%
無回答	0	0.0%
計	116	100.0%



n=116

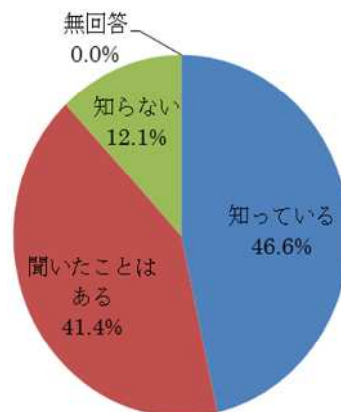
「知っている」が、51.7%という結果となりました。

問9 あなたは、「避難指示（緊急）³」を知っていますか。（回答は1つ）

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

3 人的被害の発生する危険性が非常に高まった状況、あるいは既に人的被害が発生した状況で市が発令する情報

選択肢	回答数	回答分布
知っている	54	46.6%
聞いたことはある	48	41.4%
知らない	14	12.1%
無回答	0	0.0%
計	116	100.0%



「知っている」が、46.6%という結果となりました。

n=116

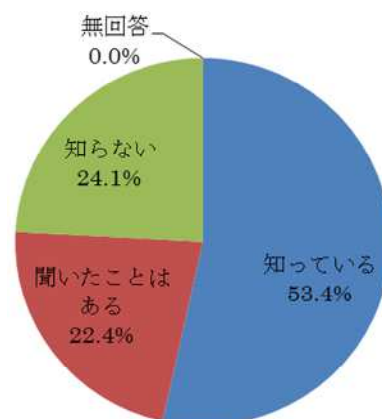
【避難場所、避難所の認知度について】

問10 あなたは、地域の自治会が選定している「一時避難場所⁴」を知っていますか。（回答は1つ）

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

4 地震により火災や建物の倒壊等が発生した場合、一時的に様子を見るための場所として、地域の自治会が選定している場所

選択肢	回答数	回答分布
知っている	62	53.4%
聞いたことはある	26	22.4%
知らない	28	24.1%
無回答	0	0.0%
計	116	100.0%



「知っている」が、53.4%という結果となりました。

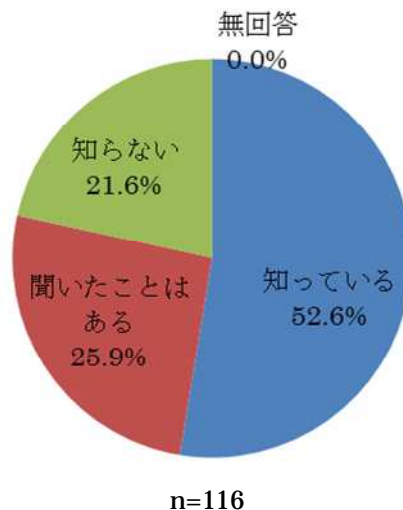
n=116

問 1 1 あなたは、市が指定している「広域避難場所⁵」を知っていますか。(回答は1つ)

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

5 地震により同時に多くの火災が発生し燃え広がった場合、火煙やふく射熱から身を守る場所として、市が指定している場所

選択肢	回答数	回答分布
知っている	61	52.6%
聞いたことはある	30	25.9%
知らない	25	21.6%
無回答	0	0.0%
計	116	100.0%

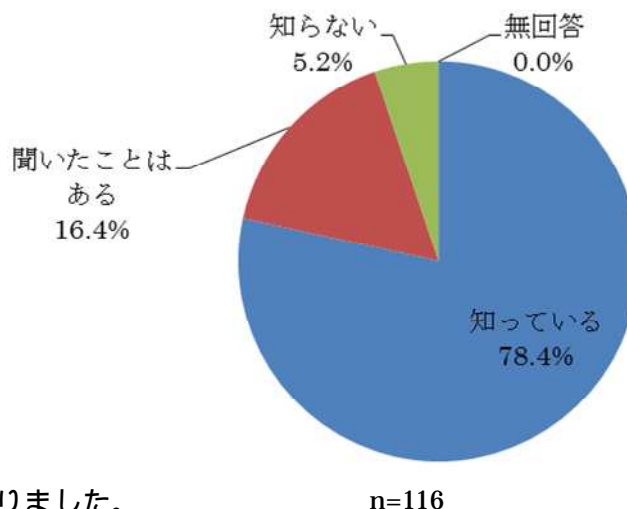


「知っている」が、52.6%という結果となりました。

問 1 2 あなたは、災害発生時、被災した人を受け入れるために小・中学校などが避難所となっていることを知っていますか。(回答は1つ)

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

選択肢	回答数	回答分布
知っている	91	78.4%
聞いたことはある	19	16.4%
知らない	6	5.2%
無回答	0	0.0%
計	116	100.0%

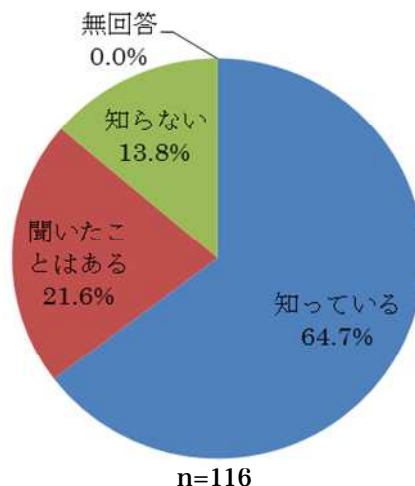


「知っている」が、78.4%という結果となりました。

問 1 3 あなたは、洪水や土砂災害の時の避難場所として小・中学校などが風水害時避難場所となっていることを知っていますか。(回答は1つ)

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

選択肢	回答数	回答分布
知っている	75	64.7%
聞いたことはある	25	21.6%
知らない	16	13.8%
無回答	0	0.0%
計	116	100.0%



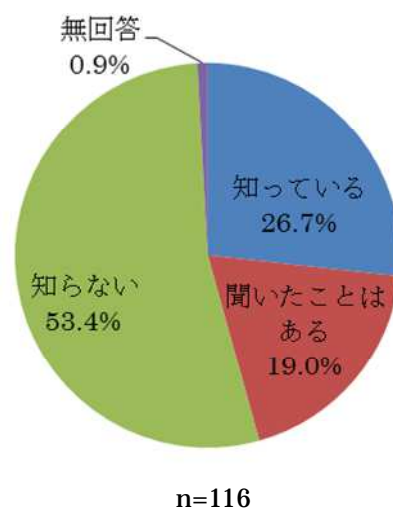
「知っている」が、64.7%という結果となりました。

問 1 4 あなたは、「ローリングストック⁶」を知っていますか。(回答は1つ)

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

6 日常生活で使用する水や食料を多めに備蓄しておき、消費したら補充するという備蓄方法

選択肢	回答数	回答分布
知っている	31	26.7%
聞いたことはある	22	19.0%
知らない	62	53.4%
無回答	1	0.9%
計	116	100%

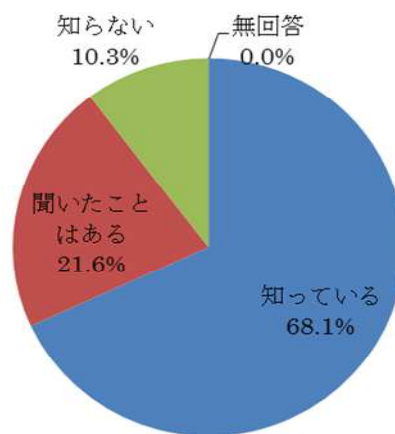


「知っている」が、26.7%という結果となりました。

問15 あなたは、災害時に停電が発生し、停電が復旧した時に発生する火災「通電火災」を知っていますか。(回答は1つ)

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

選択肢	回答数	回答分布
知っている	79	68.1%
聞いたことはある	25	21.6%
知らない	12	10.3%
無回答	0	0.0%
計	116	100.0%



n=116

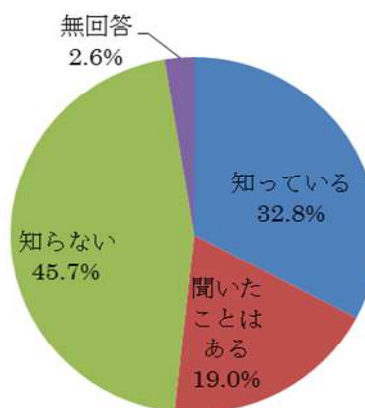
「知っている」が、68.1%という結果となりました。

問16-1 あなたは、「感震ブレーカー」を知っていますか。(回答は1つ)

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

7 地震の強い揺れにより自動的に電気の供給を遮断し、通電時の出火を防止することができるもの

選択肢	回答数	回答分布
知っている	38	32.8%
聞いたことはある	22	19.0%
知らない	53	45.7%
無回答	3	2.6%
計	116	100.0%



n=116

「知っている」が、32.8%という結果となりました。

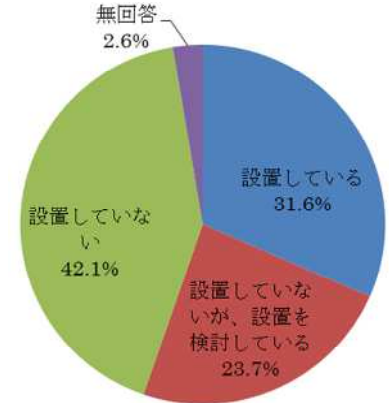
《問16-1で、「1 知っている」とお答えの方へ》

問16-2 あなたは「感震ブレーカー⁷」を設置していますか。(回答は1つ)

- 1 設置している
- 2 設置していないが、設置を検討している
- 3 設置していない

7 地震の強い揺れにより自動的に電気の供給を遮断し、通電時の出火を防止することができるもの

選択肢	回答数	回答分布
設置している	12	31.6%
設置していないが、設置を検討している	9	23.7%
設置していない	16	42.1%
無回答	1	2.6%
計	38	100.0%



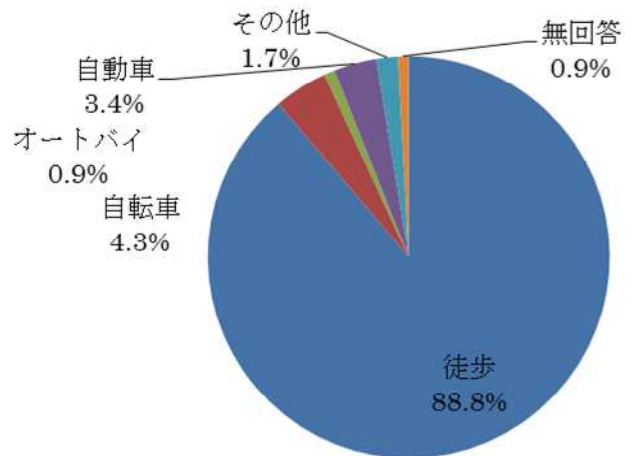
「設置している」が、31.6%という結果となりました。

n=38

問17 あなたは、災害時に、どのような手段で避難しますか。(回答は1つ)

- 1 徒歩
- 2 自転車
- 3 オートバイ
- 4 自動車
- 5 その他()

選択肢	回答数	回答分布
徒歩	103	88.8%
自転車	5	4.3%
オートバイ	1	0.9%
自動車	4	3.4%
その他	2	1.7%
無回答	1	0.9%
計	116	100.0%



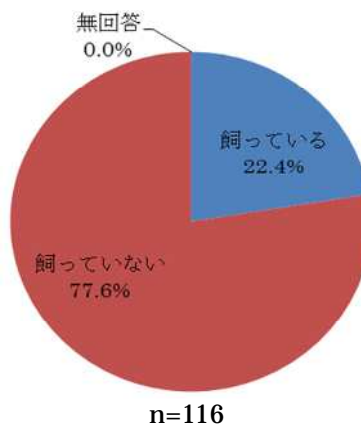
n=116

「徒歩」が、88.8%という結果となりました。

問18-1 あなたは、ペットを飼っていますか。(回答は1つ)

- 1 飼っている
- 2 飼っていない

選択肢	回答数	回答分布
飼っている	26	22.4%
飼っていない	90	77.6%
無回答	0	0.0%
計	116	100.0%



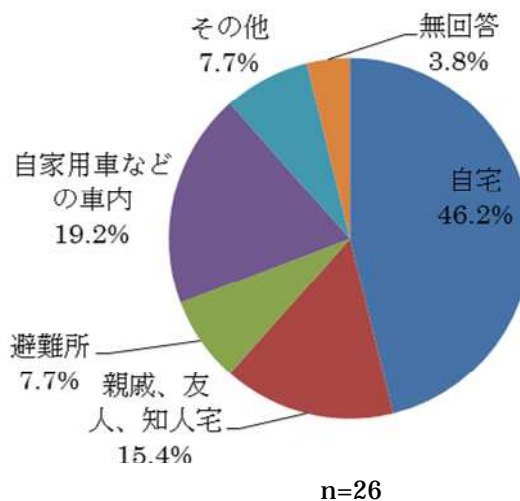
「飼っている」が、22.4%という結果となりました。

《問18-1で、「1 飼っている」とお答えの方へ》

問18-2 あなたは、災害時の避難生活で、ペットをどこで生活させる予定ですか。(回答は1つ)

- 1 自宅
- 2 親戚、友人、知人宅
- 3 避難所
- 4 自家用車などの車内
- 5 その他

選択肢	回答数	回答分布
自宅	12	46.2%
親戚、友人、知人宅	4	15.4%
避難所	2	7.7%
自家用車などの車内	5	19.2%
その他	2	7.7%
無回答	1	3.8%
計	26	100.0%

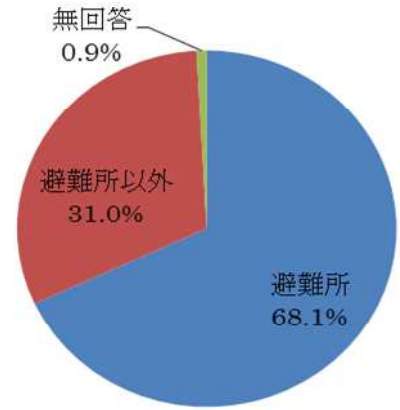


「自宅」が、46.2%という結果となりました。

【問19-1】 自宅が被災し、自宅に住むことができなくなった場合、どこに避難したいですか。(回答は1つ)

- | |
|---------|
| 1 避難所 |
| 2 避難所以外 |

選択肢	回答数	回答分布
避難所	79	68.1%
避難所以外	36	31.0%
無回答	1	0.9%
計	116	100.0%



「避難所」が、68.1%という結果になりました。

n=116

《【問19-1】で、「2 避難所以外」とお答えの方へ》

【問19-2】 なぜ避難所を選ばないのか理由をお聞かせください。

生活しづらい
避難所(小学校?)迄歩いて行けない!(1.5km)
耐震の家を建てた親戚がいる
冷暖房やプライバシー
人目が気になり心身ともに疲れる。実家が遠方にあるので、そこに避難できる。
プライバシーが保てない
プライバシーが保てず、居心地がよくないと思うから
乳幼児がいるため
ペットがいるので
避難所以外に避難する場所がある為
人が殺到して、大混雑して様々な環境や食料や物資が望めないと思うから
他人のいるところで眠れない
精神的に追い詰められそうだから。
避難所はおそらく混雑していて落ち着けないから
家族との連絡が取れず、また情報が入手しにくいから。
様子がわからないので
近くに親戚の家があるから
他人の目が気になるから
ストレスがたまるだけだから
食料などに困りそうなので。幼児がいるので他の方に迷惑をかけそう。
色んな人が集まるので防犯や衛生面が気になる

避難所が小学校の体育館で狭い。避難者が少ない場合は避難所を利用することも考えるが、避難者が多い場合は田舎に帰る。

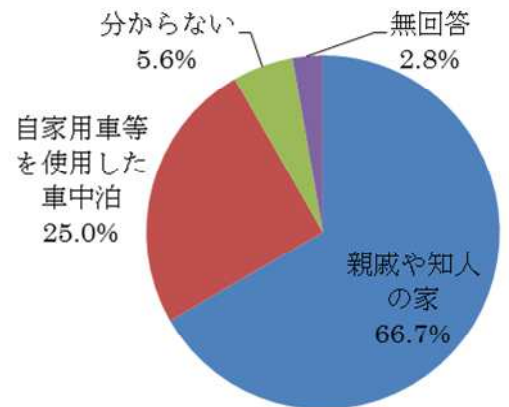
プライバシーがないから

《【問19-1】で、「2 避難所以外」とお答えの方へ》

【問19-3】 避難所以外とはどのような場所を想定していますか。(回答は1つ)

- 1 親戚や知人の家
- 2 自家用車等を使用した車中泊
- 3 分からない

選択肢	回答数	回答分布
親戚や知人の家	24	66.7%
自家用車等を使用した車中泊	9	25.0%
分からない	2	5.6%
無回答	1	2.8%
計	36	100.0%



n=36

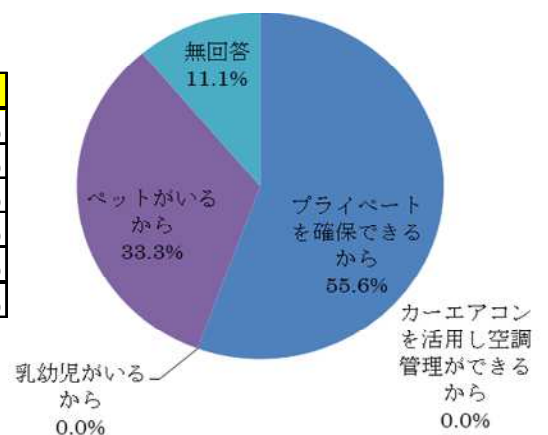
「親戚や知人の家」が、66.7%という結果になりました。

《【問19-3】で、「2 自家用車等を使用した車中泊」とお答えの方へ》

【問19-4】 なぜ車中泊を選びましたか。(回答は1つ)

- 1 プライベートを確保できるから
- 2 カーエアコンを活用し空調管理ができるから
- 3 乳幼児がいるから
- 4 ペットを飼っているから
- 5 その他()

選択肢	回答数	回答分布
プライベートを確保できるから	5	55.6%
カーエアコンを活用し空調管理ができるから	0	0.0%
乳幼児がいるから	0	0.0%
ペットがいるから	3	33.3%
無回答	1	11.1%
計	9	100.0%



n=9

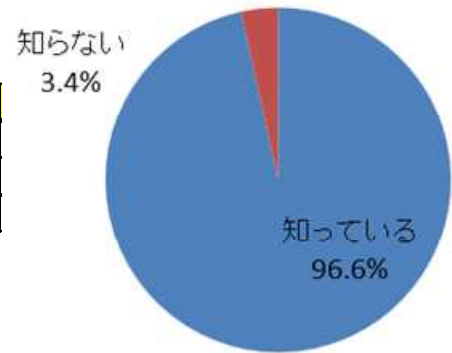
「プライベートを確保できるから」が、55.6%という結果になりました。

【問 2 0】 車中泊など狭いスペースで生活を行うことでリスクが高まると言われている「エコノミー
クラス症候群⁸」を知っていますか。(回答は1つ)

- 1 知っている
- 2 知らない

8 食事や水分を十分に取らない状態で、車などの狭い座席に長時間座っていて足を動かさないと、血行不良が起こり、血液が固まりやすくなり、血の固まり（血栓）が血管の中を流れ、肺に詰まって肺塞栓などを誘発する恐れのある病気。

選択肢	回答数	回答分布
知っている	112	96.6%
知らない	4	3.4%
計	116	100.0%



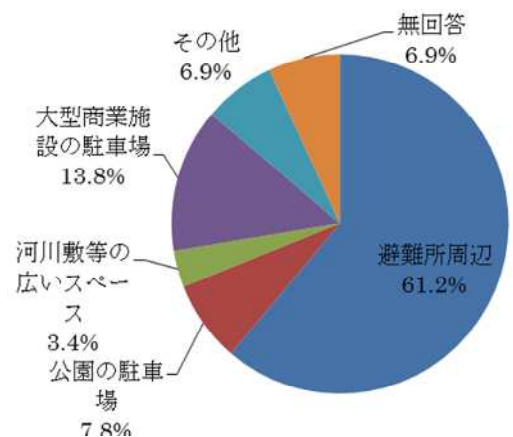
「知っている」が、96.6%という結果になりました。

n=116

【問 2 1】 あなたが車中泊を選択した場合にどこに避難しますか。(回答は1つ)

- 1 避難所周辺
- 2 公園の駐車場
- 3 河川敷等の広いスペース
- 4 大型商業施設の駐車場
- 5 その他 ()

選択肢	回答数	回答分布
避難所周辺	71	61.2%
公園の駐車場	9	7.8%
河川敷等の広いスペース	4	3.4%
大型商業施設の駐車場	16	13.8%
その他	8	6.9%
無回答	8	6.9%
計	116	100.0%



「避難所周辺」が、61.2%という結果になりました。

n=116

問22 最後に防災に関してのご意見などございましたらご自由にご記入ください。

備蓄等災害への備えについて

<p>市からどのように情報を知らせるのかわからない。ひばり放送が流れるのはわかるがきこえない。避難所への歩行に不安がある。</p>
<ol style="list-style-type: none">1. 毎年必ず自治会総会その下部組織の班会は一度はあります。下記自治会に(1月頃)大事な事のチェック(例えば避難所、広域避難の確認)するよう指示した方がよい2. 残念ながら地域放送は何を言っているのか判別不能(場所、大野台中裏森の近く)
<p>いざという時に情報がどの様に入手できるか知りたいです</p>
<p>防災サイレンなどがあるのは心強い</p>
<p>相模原市は比較的防災についての対策案内がされている方だと思う。(防災無線、町のポスターなど)今回の台風での千葉県への被害をみると、停電により防災無線が使えない状況があったと知り、少し怖いと思う。SNS等でも情報は提供できるが、高齢者の方など避難がおくれてしまわないか?と心配にはなった。その点、市はどのような方法、対策されているかも知りたいし、住んでいる私達も受け身になっているだけじゃなく、正しい情報を得て周りに伝える意識が重要だと考えさせられました。</p>
<p>当家の近くにひばり放送があるが日中でも聞こえない!夜間は完全に聞こえぬ。各所隊に無線受信器(支給or貸与)を設置願いたい(不肖転居中に無線防災受信器を貸与された)留守番通知ランプ付でした。当地区は土石流災害地区指定となっている。農地が宅地化に伴い大雨時は排水が悪く津久井湖に流れ込んでいる。</p>
<p>「防災相模原放送について」・放送はいつ、どの時間に放送されるか解らない事は十分認識している。多くの場合、放送に時は、「家が戸締りされている場合が多く」(聞く準備が出来ていない)その時はすでに放送が開始され「あわてて、何か言っているよ」という場合がほとんどで解らない!マンネリ化になりつつある。「要望」緊急放送する場合は、聞く側がその準備できる時間を用意できる様に!・例えば 家の窓をよく聞こえる様に開ける等、準備する数分を考えること! 何か手仕事等用事をしている人が、手を休め意識を向ける準備時間を! 放送の前に「災害放送用のイントロ(サイレン?音楽?etc.)を考えてほしい!聞く側の聞こうとする意識を考慮した、配慮を!</p>
<p>ひばり放送がほとんど聞こえない。というか。反射や回折が多く何を言っているか聞き取れない。以前調査をお願いしたが、音量に問題がなかったせいか、「問題なし」として何も対策がされなかった。これでは意味がないので、その気になって調査・対策をお願いしたい。家の中にも正確に聞き取れなければ意味ないと思います。</p>
<p>携帯に送られてくる台風の時などの避難情報が広域すぎてわかりづらい</p>
<p>スマホに送られてくる緊急防災情報の解除音が、発令時と同じ音でとてもうるさくて不快です。今後の課題として解除音は、発令音と区別できるように音を変えてほしいです。発令音ほど不快でない音にしてください。</p>
<p>相模原市の防災無線はよく聞き取れません。電柱が近くにありますが、埋設する方向を検討すべきです。</p>
<p>避難情報が解りにくい。相模川近くの方というより 丁目の方とか具体的に情報提供してほしい。命を守る行動をとという、曖昧な当たり前のことでなく、命を守るためには具体的にどうすれば案内してほしい。</p>

このアンケートで確認しておかないといけないことがある事を知りました。早急に確認したいと思いました。

このアンケートを通じて、自分がいかに防災への意識が低かったかを実感しました。市のホームページを見たり、家族と話したり、被災した場合にどうするかをしっかりと把握しておきたいと思いました。学齢期の子供がいたり、高齢者向けのサービスを利用したりするご家庭は、市が発信する情報に接する機会が多いと思いますが、大人だけの世帯でなおかつ新聞も取ってない世帯だと、自分から積極的に情報を取りにいかないとしりからの情報も入ってこないと思います。わが家と同じように、市が発信している防災の情報をあまり知らない世帯は多いのではないかと思います。

避難の準備や避難所等について

私は今（香川県）と相模原を行き来している関係で、自治会に加入していません（4~5年くらい）自治会に加入してない人も避難できるようよろしくお願いします。田舎が落ち着いたら自治会に入りたいと思っています。

近所づきあいがあまりないので、いざという時が少し心配。遠出中に被災すると、準備のしようがない

災害の少ない土地柄、防災意識が低めかと思います。台風前には自宅の物が他に飛んで行かない為の片づけは各自ですべき！と思います。

近くで災害が起きた時、自分でも何か準備しなければと思うが、思うだけで行動に起こせていない。ウチは大丈夫と思っている自分がある。台風の前に食料を多めに買って置いて外出を控えるなどの事ぐらいしかしていない。

どの地域の方々がどの避難場所に行けば良いのか、線引きしてほしい。1ヶ所に集中してしまったら、食料等がもらえるのかが不安になります。学区のようにだいたい区分けできれば…。どのような状況の時は、一時避難所に行くべきか更に広域避難場所との違い等が一目で分る様になると、どっちに行けばよいか分かると思う。

私の住まいは大規模マンションですが、団地として備蓄はありません。高齢者も多いですが対策はありません。自分の身は自分で守るのが大原則ですが、市に望むのは安く備蓄用の食料品や水、簡易トイレなどの斡旋や高齢者対策に取り組んでもらえたらうれしいです。

今月、台風がありました。テレビで避難を促すアナウンスがありました。台風の音で聞こえませんでした。その後、停電でテレビが消えました。避難をするべきなのかわからず、避難しようとしても台風なので、外に出ないで下さいと言われてたり、実際起きたらどうしたらいいかわからなかったです。通電火災の事も忘れていました。

防災倉庫をもっと大きいものを設置して頂きたい。電力装置を各自治体に準備して頂きたい。

防災の基礎知識が不足していると思われます。具体的な基礎知識を短時間で習得する為の施策を検討願います。提供される資料類はイントロが多く読むのに疲れます。具体的内容でかつ理解しやすいテキストの作成・配布を希望いたします（有料可）

日頃の関心度を高めるのと、災害準備として自分たちができるみのまわりの準備（水、缶詰、ランタン等）が必要だと思います。

家が大丈夫ならば、避難所へ行くことが難しい

<p>いつも災害のたびに「避難を！」と言われますが、実際のところ、全員が避難した場合、スペースはあるのでしょうか？例えば南区の避難所の収容人数はどれほどなのでしょう？そういうことを明らかにしていただきたいと思います。それがわかれば自助努力ももっと高まると思います。</p>
<p>防災用に食料等用意していても持ち運べるか常に不安</p>
<p>避難訓練の時トイレが使えなくなるのが、一番困ると防災マイスターの方に教えていただき、設置の仕方、袋の用意など教えてもらってよかったです。</p>
<p>不安に思いながらも、食料や水はどんどん古くなってしまっているので、なかなか長期保存のものでも買えずにいます。値段も高いですし、車で泊まれるようにシェラフなどは買っておいたほうがいいのかな。くらいしか今は動けない感じです。子供はまだスマホなども持たせていないので何かあった時の集合場所の確認は毎年していきたいと考えています。</p>
<p>日々備蓄が大切だと思います。</p>
<p>パニックに陥ることなく、避難したいと思います。</p>
<p>この度の台風で千葉県が大変な被害にあわれました。テレビの放映で軒並み青いシートがかかっていました。私の住んでいる所は海や川の近くではないので心配はないと思っていましたが、台風と地震があったのですね。電気がつながらなかったり、水が飲めなくなったり、こうしてみると明日は我が身ですね。自分の身は自分で守らなくてはなりません。これからは災害の時の食料とかその他色々かき集めて準備してゆきたいと思っています。</p>
<p>避難所の仕組み、詳細とか通学の方法とか、仕切る方とかがよくわからないので非常に不安です</p>
<p>避難するか自宅に残るか非常に悩みます。何かあった時は、「早く避難すべきだった」と後悔すると思うが、できれば、家族で寄り添って自宅にいたほうが、気も休まるし食事、トイレ、寝具に困らない。でも避難したほうが確実に命は助かる可能性は高まると思う。</p>
<p>・ハザードマップを読んでみましたが、具体的にどの地域が特に災害に気を付けるべきか教えてほしいです。 ・大地震などの大災害が起こった際の訓練はしているみたいですが、この地域の人はこちらに集まるといった具体的な避難先が市民にあまり伝わっていないと思われまます。そのようなアナウンスももっとされたほうが良いと思います</p>
<p>子ども広場等にも備蓄倉庫を設置してほしい。</p>
<p>最近南区は、住居・人口が増えています。地区毎に避難所が指定されていますが、その時々、十分な避難場所が確保されているのかどうか、定期的な確認が必要でないかと思ひます。その際、長期の避難生活を考慮した施策も必要と思ひます。また防災の視点からゆとりのある街づくり計画が重要ではないかと思ひます。</p>
<p>最近の日ごろから、防災の準備活動を実施・協力するように心がけています。</p>
<p>避難するタイミングが難しい。いつ安全か、容易に移動できるか、決断するのが時間がかかりそうです。</p>
<p>対策をしようと思ひながらも何も準備できていない状態です。ですからこのアンケートでしっかりと考え直した方がいいと思ひました。考える機会を作ってくださいありがとうございました。</p>
<p>災害にあった時などどのように行動するべきか。スマホでみられる動画を作りたい・</p>
<p>防災等、各行政において訓練を実施しているが、いざ有事時において活かされていないのが実態だと思ひます。対策として、災害に応じたハンドブックを作成し、に配布するのもよいかと思ひます。</p>

<p>自助共助公助を常に頭の隅に入れていますが、いざ災害の時は自助共助のみの行動を心がけております。</p>
<p>自分のところだけは大丈夫、安心という風に考えがちである。広報についてはただ単に印刷物がある時期に配布するだけではなく、自治会の春秋の清掃時にはお互い顔を合わせるのでそういう時に配布し避難場所、ルートをお互いに確認をすれば、より効果が上がると思います。防災については日頃の訓練と地域の連携が必要だと思われます。</p>
<p>わりと築年数の新しいマンションで地盤は軟弱でない立地のところに居住しているので、あまり防災への意識は強くないです。避難場所って近く中小学校に行けばいいのかと思ってたけど、災害の内容によって違うんですね。混乱している中で正確な情報が伝わるようにしてほしいですね。</p>
<p>いろんな所で天候や地震などで避難を余儀なくされるニュースを見るが、家庭では特に対策をしていないので、準備したいと思う反面、その時になったら準備したものが役に立たなかったり、被害があり使い物にならないなど出るのではという心配もある</p>
<p>・転入者に防災・自治会・子ども食堂等に関する広報マップ等あれば便利・防災マニュアル等がダウンロードできれば便利 停電時のガス、電気火災対策指針・民間、民間以外含め・自治会を通してマンション等集合住宅に関する掲示物の配布・防災訓練に関する意識づけと防災訓練、災害後の対応教育・訓練等必要でないかと思われます。 電気、ガス、水道、食料、風呂、簡易トイレ、医療、広報通信、交通手段、避難所でのルール、段ボールベッド及び衝立、安否確認、盗難対策</p>
<p>私は1998年から2010年と昨年の5月から相模原市に戻ってきました。福祉避難所や地域の防災訓練や上矢部団地にいたときは避難訓練には参加していました。重度障がい者は、中学校の避難所も物理的に子供が通っていた富士見小学校のようにバリアフリー化をされているわけではないので、前地域福祉計画や社協の地域福祉活動計画、障がい者福祉計画に携わってきました。相模原市に障作連や施設協議会や高齢者支援センター、所管課（障害・高齢・児童など）と一緒にHUG訓練など、市から福島などに派遣している職員と一緒に数回、確認をした方がいいと思いますし、自立支援協議会などでも検討して避難所の総点検をした方がいいと思っています。民生委員さんはなかなか障害の人と関わり少ないです。私たちも地域のイベントや防災訓練などに参加していくことが大事だと思います。</p>
<p>避難生活が長期になる場合の避難者の生活が心配です。市営住宅などの空き室利用、市内のホテルなどの借り上げ利用、市内の空き家の利用など便宜を図ってほしいと思います。なるべく日常生活に近い形の生活を保障すべきだと思います。普段からそのような事態を想定して事前に準備しておく必要があると思います。</p>

その他

<p>体力的にたえられるか心配。</p>
<p>防災意識は皆で高めないといけないと思う。災害時の自販機の無料で飲み物を配れることは良いシステムだと思う。そういう自販機を置いている所には補助金を出してもらいたい。（現在、我家でも置いているが、電気代が売り上げを上回っている）</p>
<p>知らない事が多いなあと感じた。学生で家族が知っていることに、頼ってしまうのだろうなあと思う。</p>
<p>相模原市は特に大きな災害もなく暮らしておりますが、いつ千葉の様な災害に遭遇するのかわかりません。行政の役割も大と思われます。発生してからでは遅いです。充分に対応できるように願</p>

<p>いします。小生も中央区上矢部地区に住居を構えております。先日の台風の時でも境川の水位が上がり、川の近くの方は大変心配したそうです。早く河川の見直しを実施して下さい。上矢部地区は仮フェンスがあり将来的にこの仮フェンスが水を止め氾濫をよびかねません。早目に検討して下さい。</p>
<p>相模大野のロビーシティーに住んでいます。自治会が解散してしまったので、災害の際どうなるのか心配です。自治会に入っていない住民への対応も考えていて欲しい。</p>
<p>反省させられることが多かった</p>
<p>東京都で配布されている様な最近の「防災ガイドブック」の作成・配布を希望します。特に「女性視点からの防災ガイドブック」を切望致します。</p>
<p>ペット（犬）のことを考えてほしい</p>
<p>最近、自然災害も多いので防災に関してとても関心があります。</p>
<p>アンケートはとるが市の行政のやることは当てにならない。只仕事を作って時間を費やしているだけ。デスクワークの作業が好きで統計を取ってるだけ。統計はとっても身体まで使ってまで仕事はしない</p>
<p>今回のアンケートで改めて我家の災害に対する備え・考えが不十分であることを認識させられました。早急に妻と話し合おうと思います。</p>
<p>昨今の状況を見て何かあった時の安心、お知らせをもっと連絡して下さい。</p>
<p>給水車の手配早くお願いします</p>
<p>ペットのための防災避難をもう少し考えてほしいと思う</p>
<p>電気・ガス・水道が止まってしまったときに、携帯の充電やトイレの使用などが不安です。自宅の近くに、どこで何が利用できるかを、事前に知ることができたら安心すると思います。</p>
<p>各家庭のポストへ防災のチラシや意識向上のためのパンフレットを配布するととても良いと思います。また SNS・市の HP・ポスターを通して全市民が防災について関心が向く取り組みがあるとよいと思います。</p>
<p>防災マップを公民館や市の出張所などに掲示しておいてほしい。どどこへ行ったら見れるのではなく、公共施設に常に掲示しておいてください。また太陽光発電設備ももっと市民にどのように利用していて、災害時にはどのように利用するのか、設置してある施設ではもっと広報活動して欲しい。また市の職員も市民から太陽光について聞かれたら答えられるようにしておいてほしい。</p>
<p>大災害が起きないことを願う、日々です</p>
<p>小さな子、老人に対する気配りをしてほしい</p>
<p>今後 30 年以内に関東地方？首都圏？に大地震が起こる可能性が 80%？と予想されているようです。今回は、台風 15 号により関東地方に大きな被害を残しました。特に千葉県は建物の倒壊だけでなく、断水・停電等も長期間に及んでいます。大地震の被害比べて台風ですので、小さい被害とみられますが、それですらもっと抜本的な防災対策が必要なのではないでしょうか。</p>
<p>この度の台風 15 号による千葉県での大きな被害を TV や新聞紙上で見る限り、被害を最小限化する事前の対策（インフラ整備）が実施されていないため、被害が増大したと思われます。そのため本来の防災対策を自治体がより積極的に推進していく必要があると思います。</p>